

# **EASY** Report **Plus**

マニュアル

## 目次

1.ご利用の前に.....	3
2.メインメニュー.....	5
3.設定.....	6
3.1 テスター設定.....	7
4. レポート作成.....	10
4.1 証明書作成.....	11
5.リモート操作.....	13
6.保存データ.....	14
7.診断結果証明書.....	15

## 1.ご利用の前に

### <この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。>

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解し記載事項をお守りください。

また、本製品を十分に活用していただくためには、車両コンピュータシステムを熟知されている必要があります。

本製品を使用する際に修理書を参照せず、無理な使い方や車両を破損させた場合、正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。

### <使用上のご注意及び注意事項>

- 本体を車両から着脱する際は、車両のイグニッションスイッチが OFF であることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置で脱着すると、本体やプログラムを破壊する場合があります。
- 車両の診断コネクタに本体がしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。
- 本体の端子部に異物を入れないでください。
- 本体の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。
- 本体にエンジンオイルなどを付着させないでください。接触不良の原因となります。
- エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリー液を本体に付着させないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。
- 気温 0° C ~ 50°C、湿度 80%以下の環境でご使用ください。
- 本体の端子が変形している場合は、ショートのおそれがありますのでご使用を中止してください。
- 本体に衝撃等を与えないでください。
- 本体は防水仕様ではありませんので水に濡らさないでください。
- ぬれた手で、本製品に触れないでください。
- 運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。
- 電源電圧は DC10V 以上 32V 以下でお使いください。
- 人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、また車輪止めを行い、車両の点検・修理を行ってください。
- 車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至らせる恐れのある無色無臭の非常に危険な一酸化炭素が含まれております。排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。
- 本製品を分解・改造しないでください。

<保管場所について下記の場所には保管しないでください。>

- 水のかかるところ
- 強い衝撃が加わるところ
- 気温 -20℃ 以下 70℃ 以上、湿度 80%以上のところ
- 結露のあるところ
- 直射日光があたるところや炎天下の車室内など高温になるところ

<スマートフォンの設定事項>

- 本アプリの文字サイズは一部の端末において、スマートフォンの文字サイズ（フォントサイズ）に依存します。

スマートフォンの文字サイズを標準サイズに設定の上、アプリを起動してください。

## 2.メインメニュー

アプリケーション起動時に表示する画面です。



### ボタン

機能	内容
レポート作成	「4.レポート作成」に遷移します。
リモート操作	「5.リモート操作」に遷移します。
保存データ	「6.保存データ」に遷移します。
設定	「3.」に遷移します。

### ファンクションキー

機能	内容
Home	「2.メインメニュー」に遷移します。
レポート作成	「4.レポート作成」に遷移します。
リモート操作	「5.リモート操作」に遷移します。
保存データ	「6.保存データ」に遷移します。
設定	「3.」に遷移します。

### 3.設定

各種機能の設定を行います。



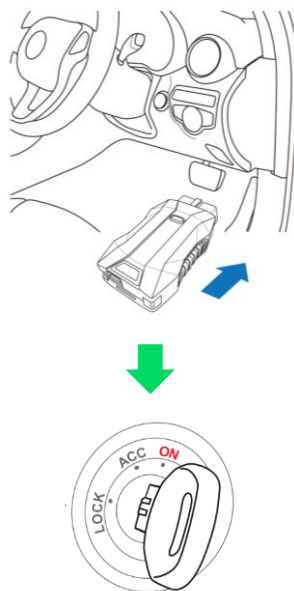
#### ボタン

機能	内容
テスター設定	Bluetooth によるテスター設定を行います。
メールアドレス設定	診断書をメール送信する際の宛先を登録できます。
事業所情報設定	事業所情報を登録できます。
ユーザガイド	各車両のリコール情報や整備技術情報を確認できます。
ライセンス	ライセンス情報を表示します。
I/F 情報	I/F 情報を表示します。

### 3.1 テスター設定

車両のイグニッション SW が OFF の状態で、車両診断コネクタに診断機本体（以下 I/F）を接続します。

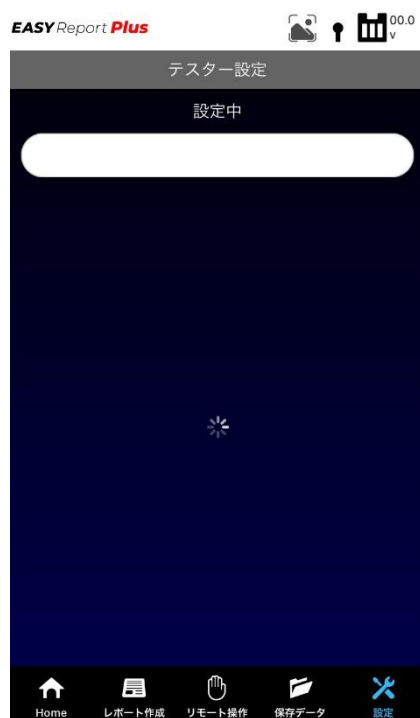
I/F 接続後、イグニッション SW を ON にします。



「テスター設定」を選択します。



検索が始まるのでしばらく待ちます。



デバイスが見つければ一覧に表示されます。  
製品名欄にご使用の製品名、本体シリアル番号欄  
にご使用のシリアル番号（2桁-6桁の計8桁）  
が表示されます。

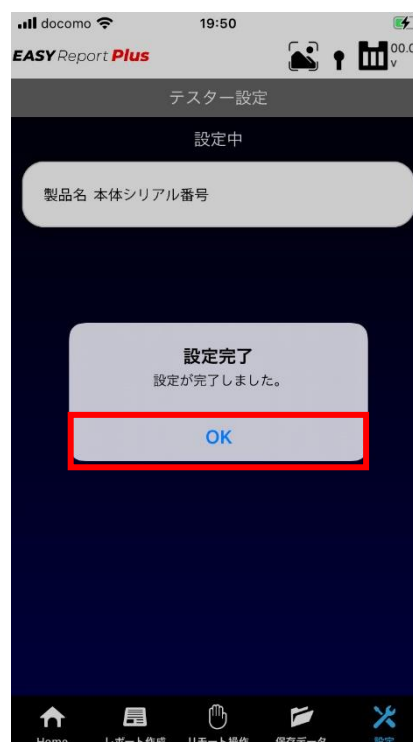




デバイス名を選択後、「使用するテスターとして設定しますか?」と表示されるので、「OK」を選択します。



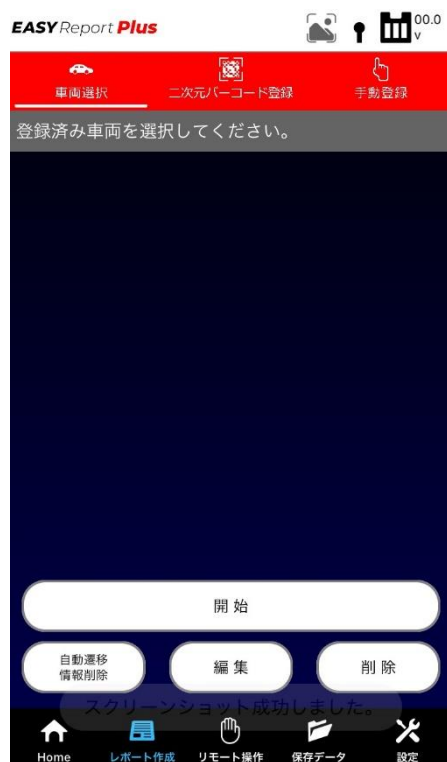
「設定が完了しました。」と表示されるので、「OK」を選択します。



#### 4.レポート作成

車両診断を行う際に必要な車両情報の登録が行えます。

※初回動作では「設定」から「テスター設定」を行ってください。



#### ボタン

機能	内容
車両選択	登録した車両情報が表示されます。
二次元バーコード登録	車検証の二次元バーコード読み取りによる車両情報登録を行います。
手動登録	手動による車両情報の登録を行います。
開始	レポート作成を開始します。
自動遷移情報削除	車両情報登録後に一度診断を行うと、診断メーカーや車種などの情報が車両情報に関連付けされ、2回目からの診断時には選択することなく診断ソフトのメインメニューまで遷移します。本機能では関連付けされた遷移情報を削除できます。
編集	登録した車両情報の編集を行います。
削除	登録した車両情報の削除を行います。

#### 4-1. 証明書作成

レポート作成画面から「開始」ボタンを押下すると

診断機との通信が行われ必要な車両情報を選択後に自動的に全自己診断を行います。

全自己診断終了後に証明書の発行が可能です。

全自己診断実施後は 100%になるまで待機します。

「中止」ボタンでキャンセルが出来ます。



全自己診断完了後は「証明書作成」ボタンを押下

することで証明書の作成が行えます。



アプリから証明書のデータをメールで送信したり印刷が可能です。



ボタン

機能	内容
Eメール	「設定」—「メールアドレス設定」で登録されたメールアドレスに送信します。
印刷	診断結果証明書を印刷します。
証明書編集	診断結果証明書のお客様名、車両のボディタイプ等を変更できます。

## 5. リモート操作

診断機のリモート操作を行える機能です。

接続出来る診断機が行う全ての作業をリモートで操作が可能です。



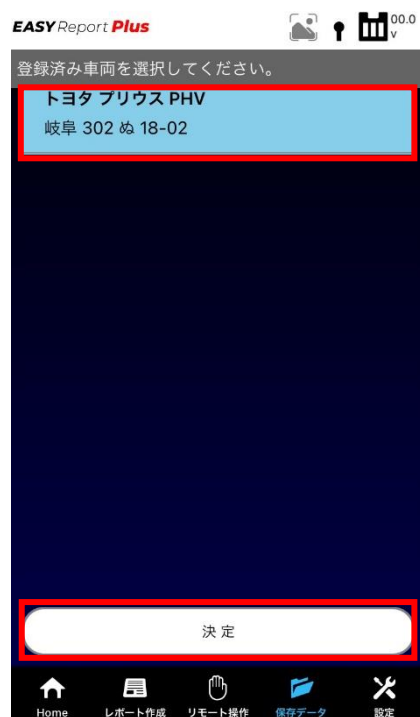
### ボタン

機能	内容
リモート開始	全ての作業をリモートで操作を行います。

## 6.保存データ

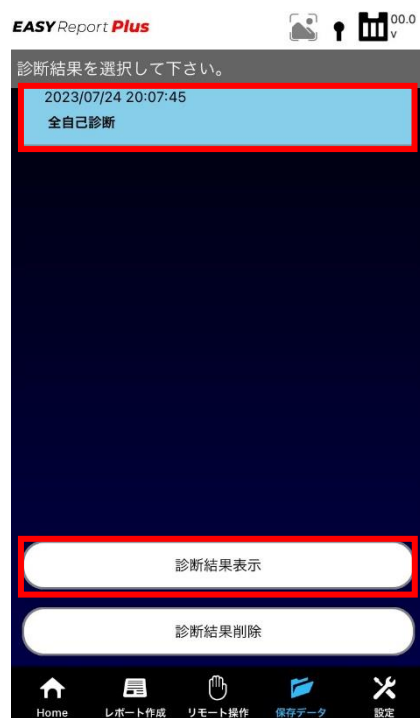
保存された診断結果を表示できます。

車両を選択して、「決定」を選択します。



診断結果を選択して、「診断結果表示」を選択します。

診断結果を削除する場合は、「診断結果削除」を選択してください。



## 7.診断結果証明書



### ボタン

機能	内容
Eメール	「設定」—「メールアドレス設定」で登録されたメールアドレスに送信します。
印刷	診断結果証明書を印刷します。
証明書編集	診断結果証明書のお客様名、車両のボディタイプを変更できます。